



長寧区と日系企業との交流会 ～日本から上海へのチャーター便運航の感謝を込めて～



会場の様子

10月29日夕方、上海国際貿易中心に100名以上の日系企業からの参加者を得て、上海日本商工クラブと上海市長寧区政府の交流会が開催された。

数日前に開催の詳細が決定して、短期間の案内となったものの、チャーター便利用企業や長寧区内の日系企業から思いのほか多数の参加者が集まった。来場した長寧区関係者からは、商工クラブの会員企業の長寧区に対する関心の高さと会合での礼儀正しさに若干驚いた様子を見せていたが、チャーター便運航への感謝の気持ちは十分に伝わったようであった。



パースデーケーキを送られた本郷氏

石原理事長 あいさつ

冒頭に商工クラブの石原理事長からあいさつがあった。石原理事長は、9月15日に155名、30日には197名を乗せたチャーター便が無事に上海に到着したこと、そ

の運航の準備にあたっては長寧区政府に多大なご協力をいただいたことに深く感謝し、多くの企業関係者とその家族が戻ったことで日系企業の復工復産にも貢献するものと述べた。

チャーター便利用企業と 利用者

チャーター便を利用した企業を代表して、日本製鉄上海代表処の伊藤財務総監から、長寧区在住の同社の日本人駐在員が無事にチャーター便で上海に戻り、既に2週間の隔離も終了して勤務していることが長寧区への感謝と合わせて報告された。

続いて、チャーター便第2便に搭乗した加賀電子の本郷氏から、9月30日が誕生日であったことから、隔離ホテルに到着したところで、防護服姿の長寧区スタッフからパースデーケーキを送られるという予想外のもてなしを受けたという心温まるエピソードが披露された。

長寧区副区長あいさつ

長寧区を代表して翁華建長寧区副区長があいさつに立ち、長寧区では外資企業の中で日系企業が最も多く、外国人居住者では日本人が最も多いことから、日系企業と日本人へのサービスには大いに留意していると述べた。また、翁副区長は日系企業が困ったことがあれば、いつでも知らせてほしいと述べ、長寧区のビジネス環境の改善に意欲を見せた。

感謝盾とバナーの贈呈

石原理事長から、チャーター便運航への感謝の記念として翁副区長に感謝盾が贈呈され、続いて、日本貿易振興機構(JETRO)上海事務所の水田所長から感謝バナーが贈呈された。チャーター便運航にあたっては、JETRO上海事務所の職員が長寧区とのパイプ役を務めるなど、陰ながら協力いただいた。

交流会の最後には、長寧区商務委員会から最近の長寧区の外資誘致政策について説明が行われ、和やかな雰囲気での閉会した。

最後に

今回の交流会では、第1便、第2便のチャーター便への感謝とともに、第3便、第4便の運航への協力を求めたが、その後の外国から中国への入国制限の強化などもあり、チャーター便運航は大きな壁にぶつかっている。